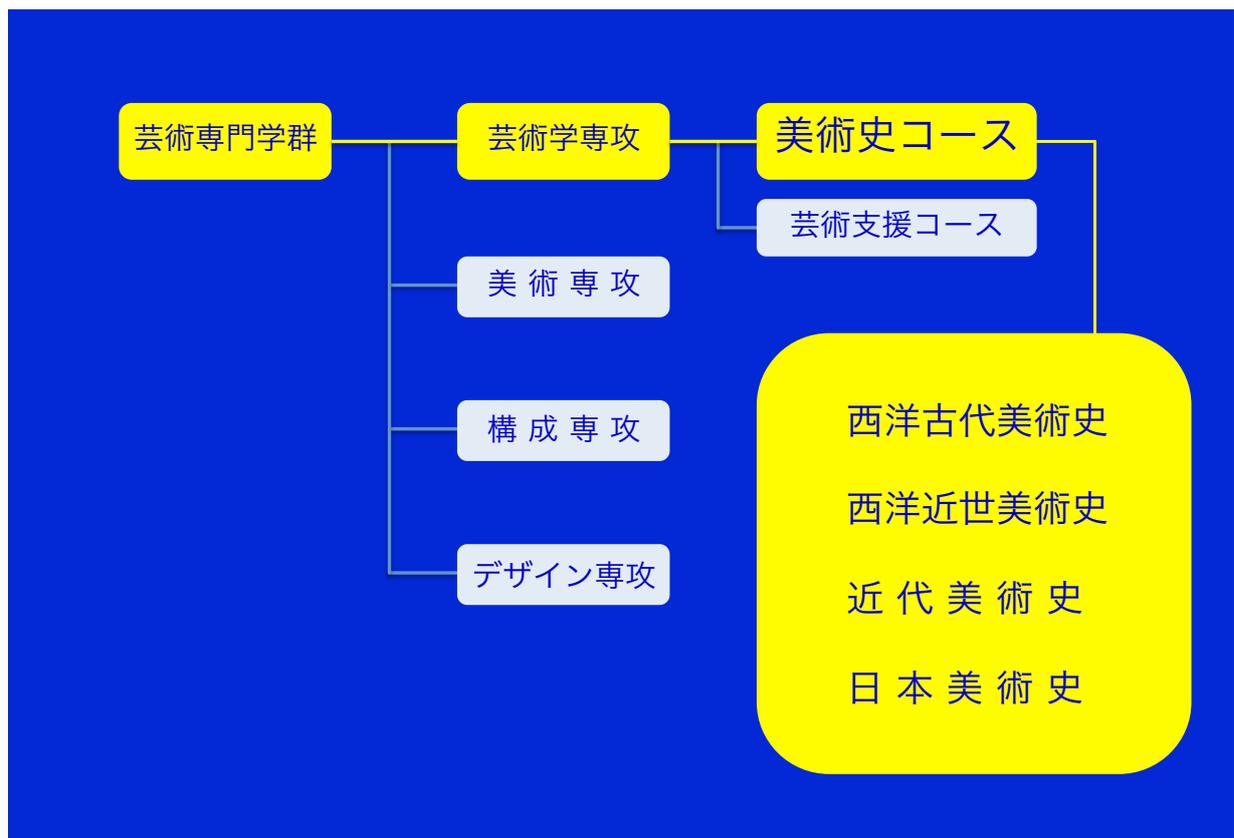


美術史コース

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/geigaku/>

国立の総合大学で唯一、造形芸術とデザインに特化した教育組織である**芸術専門学群**は、4つの主専攻分野、14のコースないし領域で構成され、幅ひろい教養と高い専門性を培うことができます。4つの主専攻分野のうち**芸術学専攻**は、**美術史**と芸術支援のふたつのコースに分かれています。



●美術史コース

美術史コースでは、古代から現代にいたるさまざまな時代や地域の芸術に関して学び、「芸術とはなにか」という根本的な問題をはじめとする多種多様な事柄を実証的、歴史的に解き明かす能力を培うことを目標としています。高校までに国語、外国語、歴史の基礎学力を十分に蓄えておくことが期待されます。

●美術史

- ・ 美術を時間軸のうえで再構築し、物語化する手続き
- ・ 美術作品とその作り手、美術作品とそれを観る（観た）人の関係を対象に据えた研究

●美術作品

- ・ 「作品」は作り手だけでは成り立たない
- ・ 「作られたもの」の受け手（鑑賞者／受容者）の存在が不可欠→文学作品における読者
- ・ 鑑賞者のいる（いた）環境（＝社会そのもの、あるいは展示空間といった特定の間）における役割が重要

●美術史コースでの教育プログラム

美術史コースの学生は、美術作品やデザインの制作にかかわる同学年の学生たちとともに学びながら、芸術の創造に対する理解を深めます。学芸員の実務経験をもつ教員や国内外の文化財の発掘や実地調査にかかわる教員による指導のもと、「もの」としての美術を対象として、理論的研究に裏うちされた実践的美術史の方法を学ぶことができます。

●学群共通科目（美術史コース関係教員による授業のみ例示）

- 1 年次必修 芸術学概論
- 1・2 年次 美術史概説 A および B
- 2・3 年次 美術論（美術専攻共通科目）

●美術史コース専門科目

- 1 年次 美術史学方法論
- 2・3 年次 美術史特講 …… 特定のテーマに関する講義
- 美術史演習 …… 歴史資料や研究論文（英語・日本語）の講読とディスカッション
調査研究成果のプレゼンテーション
実作品の調査実習
- 学外演習 …… 数日間の宿泊による見学旅行
美術館・博物館、社寺などで実作品を観察する態度と方法を習得
- 4 年次 卒業研究（卒業論文）

●取得できる免許・資格

- 教員免許状（美術、社会など）
- 博物館学芸員資格



筑波大学アート・コレクション専用収蔵庫での実習



茨城県陶芸美術館での展覧会関連事業への参加実習

●美術史コースのキャリアパス

美術史コースで学んだ先の代表的なキャリアパスは、美術館・博物館の専門スタッフである学芸員です。卒業生の就職先には以下の各館があります。

(大学院美術史領域修士生の就職実績も含む。転職・離職分も含む。順不同)

東京国立博物館 奈良国立博物館 東京国立近代美術館 国立国際美術館 北海道立近代美術館 秋田県立近代美術館 宮城県美術館 福島県立博物館 福島県立美術館 茨城県近代美術館 栃木県立博物館
東京都現代美術館 江戸東京博物館 埼玉県立近代美術館 神奈川県立近代美術館 群馬県立近代美術館
山梨県立美術館 新潟県立近代美術館 愛知県美術館 岐阜県現代陶芸美術館 富山県美術館 福井県立美術館
岡山県立美術館 岡山県立博物館 島根県立美術館 愛媛県美術館 高知県立美術館 山口県立萩美術館・浦上記念館 札幌芸術の森美術館 米沢市上杉博物館 まなびあテラス・東根市美術館 喜多方市教育委員会
いわき市美術館 喜多方市教育委員会 サントリー美術館 横山大観記念館 府中市美術館 戸栗美術館
太田記念美術館 日本近代文学館 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 宇都宮美術館 しもだて美術館
那珂川町馬頭広重美術館 川口市立アートギャラリー・アトリア 大川美術館 ポーラ美術館 新潟市美術館
佐久市立近代美術館 北澤美術館 諏訪市原田泰治美術館 軽井沢高原文庫 高浜市やきものの里かわら美術館
金沢湯涌夢二館 大原美術館 広島市現代美術館 下関市立美術館 熊本市現代美術館 熊本市立熊本博物館

学芸員のほか、芸術に直接間接にかかわる業種のみならず多種多彩な就職実績があります。

高島屋(文化事業企画) 秋田朝日放送(アナウンサー) 小学館(編集者) 経済産業省(クールジャパン事業)
中国放送(文化事業企画) 日本デザインセンター・原デザイン研究所(コピーライター) 北海道新聞社
札幌ドーム 東武百貨店 くまざわ書店 近畿日本ツーリスト 文部科学省 宮内庁 人形劇団ひとみ座

卒業研究からさらに勉学への意欲を抱く学生は、大学院に進学します。

本学の大学院では、博士前期課程(修士)と博士後期課程(博士)の美術史領域を修了した大学院生が研究者や高度専門職業人への道を歩んでいます。主な勤務先には以下の各所があります。

(転職・離職分も含む。順不同)

筑波大学 群馬大学 山梨大学 新潟大学 島根大学 高知大学 長崎大学 熊本大学 秋田公立美術大学
聖徳大学 実践女子大学 横浜美術大学 千葉商科大学 九州産業大学 崇城大学
東京文化財研究所 奈良文化財研究所

●キャリア支援事業

美術史コースでは、大学全体で用意したり芸術専門学群が主催したりするキャリア支援事業のほかに、学生がキャリアパスを見つけるために「キャリアパス研究会」や「大学院進学説明会」を開催しています。これまでに開催したキャリアパス研究会では、デザイン会社のコピーライター、新聞社の文化事業部門、美術展のカタログ制作会社の第一線で活躍するかたがたを招き、就職活動の体験や仕事の現場についてのお話をうかがったうえで、学生を交えてざっくばらんにさまざまなお話をいただいています。

●研究誌『藝叢』

1983年創刊の『藝叢(げいそう)』は、筑波大学芸術系美術史研究室が編集・発行する美術史専門の研究誌として、学会でも一定の評価を得ています。美術史コースを担当する教員と大学院美術史領域に所属する院生、そして卒業生・修了生が寄稿・投稿し、年に一回発行されます。

●関連活動＝筑波大学芸術学美術史学会

主専攻分野が決定する3年次以降、学群・美術史コースの学群生と大学院・美術史領域の院生、卒業生・修了生、関係教員で構成される任意団体「筑波大学芸術学美術史学会」で、研究発表や事業の開催、組織の運営にあたります。学群生の卒業論文、院生の修士論文の概要は、学会刊行誌『学会通信』に掲載されます。

●コース担当教員



長田 年弘 教授

西洋古代美術史

古代ギリシア・ローマ美術史

古代ギリシアの美術と社会



寺門 臨太郎 准教授

西洋近世美術史／ミュージアム・スタディーズ

初期ネーデルラント美術の研究

美術コレクション形成史

元 愛知県美術館学芸員



林 みちこ 准教授

近代美術史／博物館学

日本の対外美術戦略の研究：博覧会と美術

近代日本の国家表象の研究：女神像

元 ポーラ美術館学芸員



水野 裕史 助教

日本美術史

日本近世絵画史

中世・近世における画題形成の研究

元 奈良文化財研究所特別研究員

●入学試験

平成33年度入試(平成32年度実施)から、形式と内容が変わる可能性があります。

詳しくは、筑波大学入試情報(アドミッション・センター)のwebサイト等で確認してください。

<http://ac.tsukuba.ac.jp/>